



映画「和ちゃんとオレ」〜監督/テレビ東京記者・ディレクター 曹絹袖<ちょう きよんす>さんにお話を伺いました

「高齢化」に伴う「介護」が国民一人ひとりの身近な問題になり、テレビや映画の世界でもこの現実を様々な手法で取り上げる機会が増えてきました。ドキュメンタリーありドラマあり、内容は様々ですが各々がこれらの問題をテーマやバックボーンとした映像を提供してくれることは歓迎すべきことかと思えます。今回紹介するのは、実際の介護の現場を取材で追ったドキュメンタリー映画『和ちゃんとオレ』です。高齢化社会を迎えたわが国では現在100万人以上の方が介護に携わっており、このフィルムが描く“息子介護の時代”をはじめとする、様々な問題が現実となってきています。今回は実際に介護の現場を取材し監督としてこの映画を作り上げたテレビ東京報道局の記者・ディレクターの曹絹袖(ちょう きよんす)さんにお話を伺いました。

Q: このBANANA NEWSでもインタビューさせて頂いた<2010年7月号>、脚本・ライターの野田明宏さんの実のお母様の介護現場を中心に「息子介護」の現場をドキュメンタリー映画にされました。そもそもの発端は?

曹: 最初に野田さんをご取材で追いついたのは2008年、当時私は厚生労働省担当記者でした。介護をしていた息子が母親を殺すという事件や介護離職といった話題や事件もあり周辺取材をすると、息子が介護者の場合に周辺にトラブルが多いということもあり、「息子介護」の現場の取材を開始しました。

Q: 「息子介護」さて、その実態は?

曹: 厚生労働省によると、介護を行っている人のうち、男性はおよそ3分の1を占め、全国で100万人以上いると推定されています。一昔前までは『介護は嫁の仕事』という時代がありましたが、時代とともにこの構図は崩れつつあるようです。少子化、核家族化が進み男性、女性を問わず『介護は実子の仕事』というスタイルが増えてきています。

Q: 私たちのグループホームにご入居されるご家族にも同じような事情の方が増えてきています。地方の実家にいらっしゃる親御さんと呼び寄せる、或いは地方にいらっしゃる息子さんが週末になるとこちらに介護にみえている。



曹絹袖(ちょう きよんす) 1977年生まれ。2000年テレビ東京入社。記者として裁判・検察、厚生労働省などを担当。現在は「NEWSアンサー」ディレクター。



「和ちゃんの中で、俺はもう息子じゃなくなったからなあ。」10年間、自宅で母親を介護してきたフリーライターの野田明宏さん(57)。認知症の母を友達のように「和ちゃん」と呼ぶ。生活は介護一色で仕事はできず、和ちゃんの年金に頼る毎日だ。2013年3月、「親を介護する息子たちを取り上げる本」の出版を目指して仕事を再開させた野田さんは、父親を介護する43歳の男性の取材を始めた。2年前に介護離職した男性は、妥協を許さない「完璧な介護」を目指す。「父を預かってくれる施設もない。仕事なんてしてられない。1日でもいいから休みたい」と、野田さんに訴えた。その取材中、一本の電話が…。それは、野田さんの介護生活の終わりを告げる電話だった。「俺みたいな人はこれから増える。俺たちは、介護“後”の人生をどう生きればいいのか。このまま生活保護になってしまう」――野田さんは危機感をあらわにした。

もう、お袋と呼べないー
”母と息子”卒業後の
実録 3,520日。

和ちゃんとオレ

曹: そう、定年後も家族を東京に残し介護のために単身赴任する、というケースも珍しくなくなってきています。しかしこの映画で取り上げたように少子化、晩婚化により働き盛りの男性がやむを得ず介護を背負わなければならぬケースが現実的に増え、様々なトラブルを生んでいます。辛い介護に慣れない家事、更に経済的問題までが重なりアップアップになってしまうのが現実です。日本の介護保険制度の基本は、まずは「在宅介護」にあり、それも家に誰か介護してくれる人がいてそれをサポートするのが介護保険というのが枠組みです。現実的には「親の介護」を取るか「仕事を取るか」の二者択一を迫られるケースさえもあるわけです。実際介護のため仕事を辞める男性は年間2万5千人にのぼっていると言います。

Q: 働きながら介護をできる環境が整っているわけではありませんね。

曹: このようなケースは増えることはあっても今後減ることはありません、対応できるような制度や枠組みを構築していかなければなりません。例えばデイサービス、最近は預かっていただける時間も多少伸びたようですが…、私も子供を保育園に預け仕事をしていますが、これに比べると介護保険の枠組みの中では、デイサービスに関しては仕事をしている人のサポートにはまだまだおぼつかない現状です。子供の場合はこれから手が離れていく。高齢者はその逆でどんどん手が掛かるようになり、しかも終わりが見えない。

Q: 在宅介護へのシフトを目指すのであれば、この映画で取り上げたような現状を思うと、早急に手をつけなければならない課題は山積していると思います。

Q: ところで曹さんは介護のご経験は?

曹: 残念ながらありません。私の夫はワグナー人なのですが義母はアルツハイマーでほぼ寝たきりです。ワグナーは社会福祉・介護に関しては先進国です、夫の両親は公立学校の教師でしたのでとりたてて裕福なわけではありませんが公的保険が充実していますので、在宅介護で普段は住み込みでヘルパーさんが1人、更に朝晩それぞれ3人ほどが来て身の回りの世話をさせていただきます。義父は義母のおむつの交換はしたことがありません、食事の介護が仕事です。介護に関する思想は勿論、制度の設計や、税金の高さも違いますしその国なりの問題や課題もあるでしょうが、両親の生活を見る限り、介護をされる人する人の尊厳は守られていると感じます。

Q: 今日は本当にありがとうございました。

曹: この映画を観て在宅介護の現実と厳しさが一人でも多くの方に伝わり問題意識を共有していただければ幸いです。

2014年1月18日(土)より札幌東中野にてロードショー

配給: テレビ東京 HP: www.tv-tokyo.co.jp/kazuore

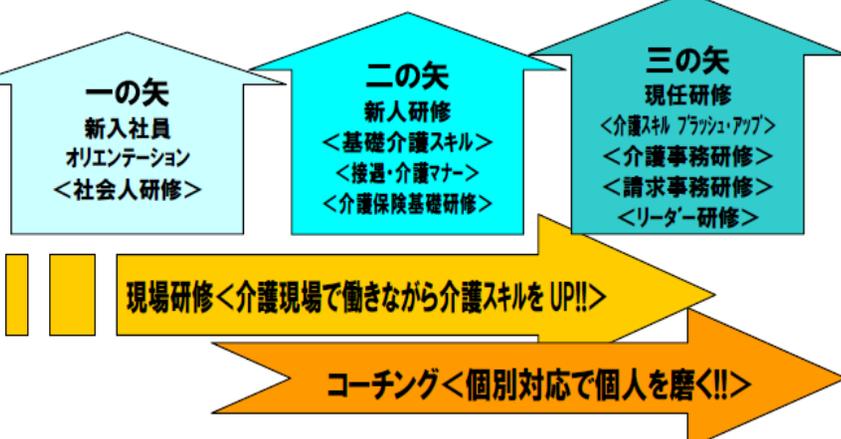
バナナ園グループはあなたの「やる気」を応援します バナナ園グループスタッフ大募集!!

業務拡張中!! グループホームと一緒に働きませんか?

バナナ園グループ<株アイ・ディ・エス/社会福祉法人ばなな会>では本年度二つの新規グループホームをオープンし、業務拡張のため只今スタッフ大募集中です。地元に着目しグループホーム運営を中心に認知症介護に特化し15年、バナナ園のスタッフになれば数々の研修システムによって働きながら介護スキルの上もバツリ!! 介護のスキルは実際にご利用者様、ご入居者様と接して初めて向上します、頼れる先輩職員のもとで働きながらバツリ学べるバナナ園グループで介護のプロフェッショナルを目指しましょう!

入社時の<オリエンテーション>から配属後の<新人研修>は勿論、現任になっても定期的な<現任研修>でスキルをブラッシュアップ。個人のモチベーションアップのために<コーチング>のシステムも導入しています。更に<研修手当>もあるので、非常勤の方でも安心して学べます。また資格取得<介護福祉士、介護支援専門員(ケアマネジャー)>時にはお祝い金も。福利厚生システムの充実も見逃せません!!「健康保険」「厚生年金」の加入は安心の証。「有給休暇制度」も完備!更に「永年勤続制度」「資格取得お祝い金制度」も充実。「社内研修旅行」や全社員の集う「クリスマスパーティー」などの社内行事も盛んです!更にうれしいのは国内大手の福利厚生代行会社「リゾートソリューション」と契約しているから「リゾート倶楽部」運営のホテル・別荘・ゴルフ場から生活クラブまで、多彩な施設や特典を使い放題(有料)!!しっかり働き、家族や恋人と過ごす余暇の充実もバナナ園ならバツリです。

バナナミクスで自分を磨く!三本の矢成長作戦!!



リゾート倶楽部ではホテルやゴルフ等のレクリエーションからショッピング迄の幅広いサービスを展開!!



社員が一同に会するクリスマスパーティーは豪華景品が当たるBINGO!ゲームが人気!!



↑管理者クラスのリーダー研修
←福祉用具・入社時の介護研修

募集要項

- ★職種:介護職員<①正社員/②非常勤職員>
- ★資格:不問<資格なくても可能です>
- ★給与:① 月給:170000円~
② 時給 900円~950円<介護福祉士>夜勤1回 13,000円
※ 別途処遇改善加算交付金あり
- ★時間:9:00~17:00 17:00~翌9:00<夜勤実労12時間><夜勤のみも可能>
- ★待遇:交通費規定内支給<月額50,000円迄>
- ★勤務場所:下記の各施設
※一旦他の施設に配属後、希望施設に再配属。

募集お問合せ: 044-433-4889

認知症介護は バナナ園グループにお任せください グループホーム入居相談会実施中!!

- 高齢者グループホームとは:認知高齢者5~9人を1グループとした共同住居の形態で、リハビリテーションの一環として食事支度や洗濯、掃除などをスタッフが利用者と一緒にすることにより、家庭的な雰囲気の中で生活することにより認知症状の進行を穏やかにし、又、家庭介護の負担を軽減します。
- バナナ園グループの各グループホームでは随時認知症介護・入居相談を実施中。川崎市内に9事業所、13ユニットを展開!さまざまなお客様のニーズにお応え致します。
- 経験豊富なスタッフが認知症介護のポイントを分かり易くご説明します
- 認知症介護でお困りの方、将来の入居をお考えのご家族様この機会に是非どうぞ。
- 右の各施設、もしくは本部総合案内までお電話でどうぞ!!



←バナナ園生田の社
宮前区菅生 2-20-3

044-433-4889

<本部入居総合案内>

バナナ園グループ

- グループホーム「川崎大師バナナ園」☎ 044-280-2386
- グループホーム「第2バナナ園」☎ 044-587-1773
- 訪問介護「IDSバナナ園」☎ 044-580-3210
- グループホーム「バナナ園武蔵小杉」☎ 044-863-7101
- グループホーム「バナナ園ほりうち家」☎ 044-722-5361
- グループホーム「のんびりーす等々力」☎ 044-750-9203
- グループホーム「のんびりーす」☎ 044-422-2295
- グループホーム「バナナ園生田ヒルズ」☎ 044-911-1599
- グループホーム「バナナ園生田の社」☎ 044-789-5691/5692
- グループホーム「バナナ園生田の泉」☎ 044-789-5693
- デイサービスバナナ園 ☎ 044-588-0890
- すこやかケアプランセンター ☎ 044-411-3120

月刊 MONTHLY BANANA NEWS (毎月1日発行)
通算第109号 編集:株式会社アイ・ディ・エス
川崎市中原区上丸子八幡町816 ☎ 044-433-4889
<HP> <http://www.bananaen.com/>